

学校 教育 目標	<目指す子ども像> 「かしこく やさしく たくましく 未来をつくる元街っ子」 【学校教育目標】 ・共に生活をつくり、共に学び合う子どもを育てます。(知・徳) ・豊かに 健やかに心と体を育む子どもを育てます。(徳・体) ・この地を愛し、この地を創る子どもを育てます。(公・開)				
	創立 149 周年 児童生徒数: 550 人	学校長 工藤 雅彦	副校長 都甲 理文	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 5
学校 概要	主な関係校: 港中学校 北方小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	港中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○主体的に問題を解決する力 ○伝え合う力・コミュニケーション力	港中学校 元街小学校 北方小学校	○生涯にわたって主体的・創造的に生きる力を育もうとする子ども ○この地を愛し、この地から愛され、この地を創る子ども ・授業を主体とした研究の取組と、授業を通じた目指す子ども像の共有化 ・小中交流日や授業研究会等、小中の円滑な接続を図るための機会の充実 ・学校運営協議会の小中合同開催による、小中・地域の子どもの共有化 ・地域の要望の受け入れだけでなく、学校運営に地域が参画、貢献できる体制づくり

中期 取組 目標	○全教職員が自立とチームワークを基盤としながら、主体的に学校経営に参画し、チーム力を生かした活力と魅力ある「だれもが、安心して、豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ・子ども一人ひとりが、学習の楽しさを実現できる授業づくりを進め、主体的な問題解決能力とコミュニケーション能力などを育成します。 ・人権尊重を基盤にした教育活動を通して「自尊感情」や「思いやりの気持ち」をもてる子の育成をめざします。 ・家庭、地域、関係諸機関、小中一貫教育推進ブロック、幼保と交流や連携を深め、開かれた学校づくりを推進します。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①共同研究主題を「課題意識をもち、豊かな対話を通して目指すべき資質・能力を育成する言葉の学習のあり方」とし、国語科を中心に相手や目的を意識して「思考・判断・表現」の力がつく単元づくりをしながら児童の学力向上を目指していく。
担当	推進委員会・教務	
徳	豊かな心	①一人ひとりの違いやよさを認め合い、ともによりよい生活をつくろうと協力しあう心を育てる。②児童理解を深め、個に寄り添った丁寧な指導を行い、自己肯定感、他者意識の向上を図る。③一言コミュニケーションとして様々な場面で自分から挨拶できるよう指導する。
担当	人権・国際	
体	健やかな心と体	①たてわり活動の充実や異学年交流行事によって異学年同士のつながりを高める。②体育科の授業を通して体を動かすことのよさを味わわせ、運動の日常化につなげ体力向上を図る。③養護教諭・栄養教諭と連携し、必要感をもって怪我や病気の予防に取り組み、衛生・安全や食に対する意識の向上を図る。
担当	たてわり・体力向上	
公 開	地域連携	①教育活動に積極的に地域の方や地域行事やまちを活用し、またPTA活動やボランティア活動などと共に連携し、地域の方への感謝や地域に愛着をもてるようにする。②学校運営協議会で、地域の願いや児童の実態について広い視野から情報交換を行い、地域全体で児童を育てる環境を整える。
担当	教務部・渉外部	
いじめへの対応		①日常に潜むいじめについて積極的に認知し、子どもの心情に寄り添うことを徹底する。②月1回以上定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認を行うことで、再発防止に努める。③いじめ防止研修を実施して、全職員がいじめに対するアンテナを高くするとともに、児童アンケートやYPアセスメントシートを活用して学級の状況を客観的に把握する。
担当	いじめ防止対策委員会	
多文化共生		①国際教室の充実を図り、外国籍等児童の日本語指導や学習指導、適応指導を行う。②国際教室担当者、学級担任、他教職員が連携し、外国籍等児童や保護への支援体制を構築していく。③日々の学校生活や行事の中で互いの文化交流ができるよう工夫していく。
担当	人権・国際、国際教室	
特別支援教育		①個別支援級と一般学級との交流学習を積極的に進め、情報交換を大切にすることで相互の教育活動の充実を図る。②特別な支援が必要な児童については、個別の支援計画をもとに全職員がかかわり、個に応じた支援を行う。③特別支援教室「のびのび教室」の充実を図りながら、学びが継続できるよう工夫をしていく。
担当	特別支援委員会	
児童指導・児童理解		①「元街小学校スタンダード」・「元街小ルールブック(児童用)」を根拠とし、全職員共通理解のもと、一貫した児童指導を行う。②児童一人ひとりを組織で細やかに支援するために、全職員で児童の課題や困り感の情報共有を行い、関係諸機関とも連携し支援や対応をし課題解決を図る。
担当	児童支援専任	
人材育成・組織運営(働き方)		①5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を行う。②教務会・学年主任会を活用し、ミドルリーダーなどが全体を見通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
担当	教務部・メンターチーム	
教育環境整備		①カリ・マネを効果的に進めるため、時間割・学校行事・宿泊学習・校外学習、単元配列の課題改善を行う。②老朽化した施設や消耗した備品、不要物の廃棄、樹木をチェックし予算化し学習環境の改善を図る。
担当	教務部・事務部・用務員	